外　国　語　科　学　習　指　導　案

日　時　平成 30 年 10 月 2 日（火）　13:20～14:05
場　所　弟子屈町立川湯小学校　５・６年教室
児　童　5 年生 6 名　6 年生 4 名　計 10 名
指導者　弟子屈町立川湯小学校　教諭
　　弟子屈町立川湯中学校　教諭

1　単元名　Unit4　「I like my town」　（We can 2 p.26～33）

2　単元について（教材観）

学習指導要領と本時の関連

〇本時の学習内容と目標に関すること

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。

〇本時の学習内容と指導事項に関すること

（1）聞くこと　ア
（2）読むこと　イ
（3）話すこと　イ
☆（4）話すこと　ウ
（5）書くこと　イ

☆は本単元における重点である。

〇本時の学習内容と言語活動に関すること

ア　聞くこと（ウ）　　イ　読むこと（ウ）　　エ　話すこと[発表]（ウ）　エ　書くこと(ウ)

本単元は、地域愛や郷土愛を醸成するユニットになっている。一般的に総合的な学習の時間や社会科の時間で学習することが多いが、地域を尊重し、地域を発信することを外国語で行うことで、より、地域についての理解を深めることにつながると考える。自分が生まれ育った地域を愛する児童を育てることは、町研の目標に迫ることであり、今回の単元設定にふさわしいと考えた。

3　児童について（児童観）

本学級の児童は、５年生６名、６年生４名、合計１０名で構成されている。特別支援学級在籍児童は存在しないが、個々の児童の学習能力については差が大きい。従って、課題が同じであっても支援の質と量が大きく異なる。

外国語の授業に関する児童の傾向は、外国語の学習が好きと答える児童が 10 名。外国語の学習塾に通っている児童が５名いる。授業中は集中しながらも楽しんで学習に取り組むことができる。アルファベットの文字をほぼ読むことができるが、大文字と小文字の区別をしたり、単語として書いたりする際には、見本が必要である。人前での発表を苦手としている児童は１名だが、グループやペアでの発表であれば、自信をもって行うことができる。

4　指導にあたって（指導観）

本単元の指導に当たっては、5つある指導事項のうち、「身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理したうえで、自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。(4)話すこと[発表]　ウ」を重点として指導する。単元を通じては、弟子屈や川湯の良さを地域に訪れる方(特に外国からいらした方)にむけて紹介することができるように、ミニポスターを作り地域のことを紹介することを最終目標としている。それに向けて、単元を4つのブロックに分け、地域の再確認、地域のよさを伝え合う、これからの地域のことを伝え合う、ポスター作りおよび紹介という流れを考えた。

児童用テキストでは、施設(コンビニや映画館、プール等)が紹介されるが、弟子屈町には、そのような施設は多くない。しかし、弟子屈町は自然が豊かであり、児童が考える地域のよさについては、自然環境、摩周湖、屈斜路湖、食べ物、水のおいしさ、温泉など自然に関係するものが多く出ることが予想される。

ポスターでの紹介に向けて、こうした弟子屈や川湯のよさを再確認し、自ら選んだテーマについて、これまで学習してきたことと本単元で学習すること(単語や文章表現、写真、絵)を活用できるように学習の環境を整備していく。

5　単元の目標

○　川湯に来ている外国の方に川湯にあるものや川湯地域の特徴について、外国語及び作成したポスターを用いて紹介することができる。

学びに向かう力、人間性等	知識及び技能	思考力・判断力・表現力
・他者に配慮しながら、地域のよさなどについて、伝え合おうとする。	・地域にどのような施設があるのか、また欲しいのか、さらに地域の良さなどを聞いたり言ったりすることができる。	・地域のよさや課題などについて自分の考えや気持ちを伝え合ったり、地域のよさや願いについて例を参考に語順を意識しながら書いたりする。

6　該当する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ア　ゆっくりはっきりと話されれば、自分の琴や身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする。
読むこと	イ　音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと（発表）	ウ　身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
書くこと	イ　自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

7　単元計画（全８時間）

時数	目標（◆）と主な活動（○）	手だて	身に付ける表現等	評価
1	◆様々な地域の説明を聞き、その内容を理解することができる。 ○都市にある施設を外国語で聞いて理解する。 ○動作を表す語彙について外国語で聞いたり、話したりする。	We can 2 の拡大図 絵カード（施設・動き） カードや動きを使ったゲーム	stadium roller coaster playing shopping jogging	知識及び理解
2	◆自分たちの住む地域にあるもの、ないものを探して、言うことができる。 ○都市にある施設を外国語で聞いたり、話したりする。 ○動作を表す単語について外国語で聞いたり、話したりする。	We can 2 の拡大図 絵カード（施設・動き） カードや動きを使ったゲーム		知識及び理解
3	◆地域や町のよいところや素敵なところや特徴について、聞いたり話したりすることができる。 ○地域にあるもの、欲しいものを聞き分ける。 ○発表の際に使う例文を知る。 ○都市にある施設を外国語で聞いたり、話したりする。 ○動作を表す単語について外国語で聞いたり、話したりする。	We can 2 の拡大図 絵カード（施設・動き） カードや動きを使ったゲーム	amusement park swimming pool fishing singing We have ~ We don't have~ We can ~	知識及び理解
4 本時	**◆地域や町のよいところや素敵なところ、特徴について聞いたり、話したりすることができる。 ○川湯や弟子屈にあるものやないものについて聞いたり、話したりする。 ○発表の際の例文を活用する。 ○都市にある施設を外国語で聞いたり、話したりする。**	**We can 2 の拡大図 絵カード（施設・動き） カードや動きを使ったゲーム**		**知識及び理解**
5	◆例文を使って、川湯や弟子屈にあったらいいものについて伝え合うことができる。 ○自分の住んでいる地域にあったらよいもの、欲しいものを考え、伝え合う。	We can 2 の拡大図 絵カード（施設・動き）	We have ~ We don't have~ We can ~ station library bookstore	思考力・判断力・表現力
6	◆川湯や弟子屈のよさや欲しい施設についてまとめ、発表することができる。 ○これまでの学習を振り返り、ポスターに表す内容について検討する。	We can 2 の拡大図 ポスターの見本 絵カード		思考力・判断力・表現力
7	◆地域のよさについて紹介するポスターを作ることができる。 ○例文を使って、地域のよさについての英文を書く。	ビデオカメラ ポスターの見本	We have ~ We can ~ We can enjoy ~ ~ is nice　　etc…	思考力・判断力・表現力
8	◆作成したポスターを使って、他者に配慮しながら、地域のよさについて発表することができる。 ○作成したポスターを使って地域のよさを紹介する。 ○学習を振り返る。	ビデオカメラ ポスターの見本 振り返りシート		学びに向かう力、人間性 知識及び技能

8　本時案（４／８）

1）本時の目標

○　地域や町のよいところや素敵なところ、特徴について聞いたり、話したりすることができる。

2）　本時の評価規準

○　自分の住んでいる地域にあるもの、ないものについて聞いたり話したりすることができる。

（知識及び技能）

3）本時の展開（指示については、可能な限りジェスチャーや視聴覚教材等を用い、英語で行う）

過程	学習活動	教師の手立て ◎主発問　・指示　※評価規準、評価方法
導入 5分	○ＡＬＴと挨拶 ○ＡＬＴと Small talk を行う。	・ＡＬＴとの Greeting 「では、佐々木先生と挨拶をしましょう。」 ・small talk（ALT）の指示
展開前半 13分	○課題の把握 町にあるものや特徴について英語で聞いたり、話したりしよう ○Activity1　キーワードゲームを行う。 ○Activity２　ミッシングゲームを行う。	・課題の提示 ◎「弟子屈町や川湯地区のことをたくさんの人に知ってもらうために、ゲームや教科書を使って、施設の言い方やほしいもの、したいことについて話したり聞いたりできるようにしましょう。」 ・Activity の説明を簡単に行う。カードの準備。 「ペアを作る→間に消しゴムを置く→リズムの確認→動く方向、回数の確認。（キーワードゲーム時。）」 ・全体で活動を行う。 ・ＩＣＴの準備。 ・We Can Ｐ２９を開くよう指示。
展開後半 22分	○Let’s Watch and think に取り組む。 英文を聞いて、それぞれの人物がほしいものについて〇を記入する。 ○チャンツに取り組む。 ○Let’s Listen 3 を聞き、それぞれの町のよいところについて聞き取り、教科書にメモをする。 ○例文をもとに、川湯にあるものとないものを紹介し合う。 全体前での見本→児童のペアリング→代表２組が全体での発表を行う。	・「テレビから流れる音声を聞いて、欲しいと思っているものについて〇を記入しましょう。」 ・「チャンツを聞いて同じように声を出してみましょう。」 ・「テレビから流れる音声を聞いて、２人の人が言っている町のよさを聞いて教科書にメモしましょう。」 ・「例文を使って、川湯にあるものとないものを紹介してみましょう。」 **※　自分の住んでいる地域にあるもの、ないものについて聞いたり話したりすることができる。** **（知識及び技能）** **《発展編：早く終わった児童への対応》** **・地域にあったらよいものについて考えるよう指示する。**
振り返り 5分	○活動全体を振り返ってどのような力が付いたか記述し、ファイルに閉じる。 ○ＡＬＴとの終わりの挨拶をする。	・振り返りカードの配布。 ・振り返りカード記入の指示。 「今日の学習でわかったことやどんな力が身についたかを振り返って書きましょう。」 ・ＡＬＴに終わりの挨拶の指示。